

利根沼田広域市町村圏振興整備組合 住民意見提出手続結果

- 1 件名 利根沼田新ごみ処理施設整備基本計画（素案）に関する意見について
- 2 意見等の受付件数 提出者数：8人
提出方法：持参3人、ファクス2人、電子メール3人
- 3 主な内容
- | | |
|-----------------|-----|
| 建設候補地に関する事 | 1件 |
| 施設整備に関する事 | 10件 |
| 生活環境影響調査結果に関する事 | 5件 |
| 搬入道路に関する事 | 4件 |
| 入札契約に関する事 | 1件 |

※提出いただいたご意見は、要約しています。

【ご意見】

【利根沼田広域市町村圏振興整備組合の考え方】

1 建設候補地に関する事	
(1) 施設の敷設場所を横塚町の工業団地（工場適地）にすべき。	沼田市が企業誘致の目的で取得した土地です。本組合では予定していません。
2 施設整備に関する事	
(1) ごみ量の推計を的確に行い、24時間焼却してもらいたい。	新施設稼働後のごみ量が最大となる令和14年度の推計量により環境省の算出基準に基づいて処理規模を算出しました。 24時間運転する計画です。
(2) ごみ量は減るため、処理規模を60t／日にできないか。	基本計画では、70t／日が適正規模だと考えています。

(3) 深井戸を設置して地下水を得る計画であれば、鉄さび層に特に注意し、除鉄装置を設置する方法等も検討すべき。	地下水（井戸水）を使用する計画です。 実施設計で検討します。
(4) 新施設の建設位置は、なるべく北側にした方がいいと思う。	1階は防水扉を設置し、電気設備、機械類等は2階以上に設置するなど水害発生時にもごみ処理が継続できる計画です。 実施設計で検討します。
(5) 家庭用一般ごみは、焼却に頼らないことが循環型社会です。	利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会で協議した結果、建設費及び維持管理費が抑えられること、幅広いごみ質に対応できること、二酸化炭素排出量が少ないこと等の理由により焼却（ストーカ式）が選定されました。
(6) 可燃ごみ処理施設の新設後にリサイクル施設を建設する計画であることから、リサイクル施設とは不燃灰を使ったセメント工場か。 この場合、交付金の対象となるのか。同時に運用しないと意味がないのではないか。	本計画のリサイクル施設は、灰を使ったセメント工場ではありません。 缶やびん等を受け入れる施設です。
(7) 焼却炉ありきであれば、給湯、冷暖房、ロードヒーティング以外に熱帯環境植物館とかを作ったらどうか。雇用が生まれ、観光の目玉になるかもしれない。	利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会で協議した結果、可燃ごみ処理施設の処理規模が小さい（70t/日）ことや施設内排水を水噴射処理するため余熱利用可能量が減少する等のことから、余熱利用方法は沼田市ふれあい福祉センター入浴施設への温水供給を継続する計画となりました。
(8) 地元対策について、地元区長等に相談してもらいたい。	薄根地区振興協議会役員、薄根地区区長を対象とした説明会を9月29日に、薄根地区住民を対象とした説明会を翌30日に開催し、貴重な意見を伺いましたので、早速、環境学習施設機能等の検討を始めたいです。

(9) 煙突の「役割」の再確認と「安全確保基準」に応じた高さ等の「検証」をするべきと考えます。現在稼働している沼田市白岩町の煙突は「どんな基準」に基づき設計をして建設されたのか説明するべきです。 ダウンドラフトやダウンウォッシュなどの影響及び煙突の高さ増による負担増等を、排ガス降下地点周辺住民や勤務者へわかりやすい資料で説明すべきと考えます。	煙突については、排ガスの拡散の役割を満足する高さにする必要があります。 本計画では煙突から排出される排ガスについて大気汚染防止法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく法規制値よりも厳しい公害防止計画としました。 生活環境影響調査では、河岸段丘、薄根川等の地形や風向き等の特性を考慮した分析を実施し、基準を十分満足する結果でした。 複数の高さを比較して検討しましたが、環境への影響に大きな差は見られませんでした。 建物によって生じる乱気流に排煙が巻き込まれ排煙濃度が高くなる可能性があるダウンドラフト現象の発生抑制及び排煙が煙突背面の負圧域に吸い込まれる現象が生じる可能性が高くなるダウンウォッシュ現象の防止については、実施設計で検討します。
(10) 安全安心で魅力ある場所（施設・地域）とする。 施設及び施設周辺に訪れたい、住み続けたい、地域の誇り(魅力)だと思える場所にする。 森林文化都市の象徴の一つとしてふさわしい場所とする。	地域を理解した上で皆さまの地域に対する誇りを大切に事業を進めていきます。 森林文化都市の施策について、沼田市に相談します。
3 生活環境影響調査結果に関すること	
(1) 生活環境影響調査の再考をお願いしたい。 ア 悪臭・大気質調査ポイントの再設定をして欲しい。	新施設による影響が最大となる地点を綿密に予測し、当該地点において調査を実施しましたので、今回の調査は十分に信頼できるものと考えています。
イ 予測結果の数字に変動予想幅も併記して欲しい。	不確実性を踏まえた上で影響が出た場合の最大値を予測した数値となっており、生活環境保全上の目標値を満たしています。
ウ シミュレーションの仕方を詳細に提示して欲しい。	廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（環境省）に基づき、当該業務の受託者が市販のソフトウェアを使用して実施しました。

(2) 悪臭、水質（排水）は、基準値内にして欲しい。	新施設では、関係法令を遵守した上で、特に煙突から排出され大気中に拡散する排出ガスの排出基準に関しては、厳しい公害防止基準としました。 プラント排水は、焼却の排ガスに噴霧して蒸発等の処理を行い、場外に排出しないクロズド方式とします。
(3) 安全安心で魅力ある場所（施設・地域）とする。 継続的に、広範囲、高密度、高頻度での環境（大気、水、交通量等）に関するモニタリングの実施と公表を行う。	利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会で検討します。

4 搬入道路に関すること

(1) 歩行者の安全確保について皆さんの意見を踏まえて検討したいとは、どういうことか。	子供や歩行者の安全確保を第一に沼田市と調整します。
(2) 交通量や搬入ルート等の結果、市民の皆さまからの意見を踏まえ検討してまいりたいとは、どういうことか。	各調査結果、説明会での意見、パブリックコメントの意見等を踏まえて事業を進めていきます。 引き続き広報紙やホームページ等による情報周知に努めます。
(3) 搬入道路を拡幅して欲しい。	地域の交通安全を考えた対応を沼田市と調整します。
(4) 搬入路の安全確保と居住者及び利用者の要望の充足が施設建設の基本的な大前提と位置付けるべきです。道幅の安全確保と周辺の安全対策の徹底を財源確保策と共に住民に説明し、納得した上で話を進めるべきと考えます。不可能であれば、候補地の見直しをするべきと考えます。	搬入路の整備について、安全確保を第一に沼田市と調整します。 基本計画説明会（令和7年）及び建設候補地に関する説明会（令和5年）のほか、地域住民（薄根地区振興協議会役員、区役員等）との意見交換の場を設けて直接要望を伺うなど、相互理解が深まるよう努めてまいりました。 今後も事業の進捗にあわせた説明に努め、地域の皆さまとのコミュニケーションを大切に、丁寧に進めていきます。

5 入札契約に関すること

(1) クレーン、炉等は利根沼田の業者には発注できないと思う。専門の業者を選定すると思うが公正な事業者選定を行い、入札談合の防止を図ること。	法令や国の指針等に基づき、適正な入札及び契約を行います。
---	-------------------------------------